

令和元年度 第1回東郷町在宅医療・介護連携推進部会：議事録

日時	令和元年6月4日(木) 14時00分～16時00分
場所	東郷町役場2階 第3会議室
出席者	<p>委員 ※敬称略、順不同</p> <p>松浦誠司 医師(東名古屋東郷町医師会)</p> <p>岡松猛 歯科医師(愛豊歯科医師会東郷支部)</p> <p>佐藤裕美 薬剤師(東郷町薬剤師会)</p> <p>福島美佐子 訪問看護師(虹色訪問看護ステーション)</p> <p>土井肇 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>山内恵介 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>松山陽二 居宅介護支援事業所(もみの木)</p> <p>中村万季 訪問看護師(東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション)</p> <p>近藤明美 居宅介護支援事業所(季楽居宅介護支援事業所 春夏秋冬)</p> <p>松下紀夫 訪問介護事業所(東郷町社会福祉協議会)</p> <p>村井良則 有識者(東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ)</p> <p>池田寛 有識者(豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし)</p>
欠席者	近藤修司 居宅サービス関係(エイジトピア諸輪)
傍聴者	1名
事務局	<p>高齢者支援課長(進行)</p> <p>高齢者支援課職員 2名</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の改正について</p> <p>(2) 平成30年度の活動報告について</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 在宅医療・介護連携推進部会 講演会について</p> <p>(2) 電子@連絡帳の普及啓発について</p> <p>(3) 在宅ケアを考える会 inTOGO(多職種カンファレンス)について</p> <p>(4) 認知症初期集中支援チーム(オレンジケアとうごう)について</p> <p>(5) 住民向け周知啓発物について</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の一部改正について</p> <p>資料2 平成30年度地域ケア推進会議、在宅医療・介護連携推進部会報告</p> <p>資料3 平成30年度豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」実績報告書</p> <p>資料4 令和元年度東郷町在宅医療・介護連携推進部会講演会(医療介護フェア)(案)</p> <p>資料5 「在宅医療・介護連携に関する調査票」アンケート調査結果(抜粋)</p>

資料 6	電子@連絡帳（レガッタネットとうごう）の利用状況について
資料 7	電子@連絡帳「レガッタネットとうごう」機能説明会について
資料 8	在宅ケアを考える会 inTOGO（多職種カンファレンス）について
資料 9	平成 3 0 年度認知症初期集中支援チーム 支援内容一覧
資料 1 0	住民向け啓発物一式

1 あいさつ（部会長）

2 報告事項

(1) 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の改正について

(2) 平成30年度の活動報告について

3 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進部会 講演会について

- 講演会のテーマを、認知症の短編映画または認知症当事者の体験談及び成年後見制度とする。
 - ・毎年バラバラのテーマにするのではなく、絞り込んで来年も被せたテーマで行う方が良い。
 - ・成年後見制度で困ったことや、医療や住まいで後見人でも介入できないことなど、具体的にあげてもらいたい。
 - ・成年後見制度について、尾張東部成年後見センター長の話が分かりやすかった。成年後見制度の利用促進計画を策定しているので、その話もできると良い。
 - ・映画は長くても1時間程度。
- 講演会とあわせて医療介護フェアを実施する。
 - ・訪問歯科診療や訪問栄養指導などはブースで実施。
 - ・場所は、いこまい館多目的室AとBとする。また、時間は未定だが、ブースを開ける時間は講演会を挟むと良い。
 - ・リハ職や通所介護にも声をかける。
 - ・協賛品について、各委員に協力を依頼。企業からの協賛品などがあるとありがたい。町の未来プロジェクト課営業係にも声をかける。
 - ・各ブースの内容については、各委員が中心となって考える。違う職種にこういうことをやってもらいたい、実践してもらいたいなどの意見は部会などで出してもらおう。

(2) 電子@連絡帳の普及啓発について

- 委員から普及啓発に向けた意見を聴取。
 - ・操作に苦労している、患者登録の方法が分からない、面倒くさい、必要性を感じていないという人が多い。
 - ・数より濃さではないか。
 - ・患者グループ以外にもグループ内で研修参加の確認や、研修会の案内チラシ閲覧など、機能は様々ある。
 - ・後見人の弁護士の登録を許可してほしい。➡その都度部会で諮るため、部会委員から推薦してもらおうこととする。
 - ・福祉用具販売（貸与）事業者の利用も認める。
 - ・始動して3年経つがあまり普及していないのは、何か大きな原因があるのではないか。

(3) 在宅ケアを考える会 inTOGO（多職種カンファレンス）について

●在宅ケアを考える会について

- ・参加してもらうには、グループワークなど参加者が能動的に参加できると良い。
- ・医師などと交流したいが、なかなか難しい。
- ・何回かやっているうちに顔が分かってきているため、参加者が固定化しがちなのではないかな。
- ・登録者（129人、65団体）には電子@連絡帳やファックスで案内をしていて、それ以上の周知は難しい。

●多職種カンファレンスについて

- ・参加者の意見がでた後に、どうなったか後日談を知りたい。カンファレンスを踏まえて、こうなったという報告や、上手くいかなかった時はまた参加者に相談する（事例提供をする）ということをやってほしい。
- ・色々な職種の意見が聞けるのは勉強になるが、医師や歯科医師にも来てもらって意見が欲しい。歯科医師や薬剤師も含めて、医療側から事例を出してもらうのもよいと思う。
- ・横並びでやると意見が出づらいため、グループワーク形式が良いと思う。参加者に見られながら話すのは緊張感があって嫌だ。
- ・参加時に、時間を使ったという充実感がない。訪問をずらして参加させるので、充実感を得てきてほしい。
- ・参加することは非常に重要。その場に参加して顔つなぎすることが大事。
- ・事前に打ち合わせや資料を作る時間があり、もう少し簡素でも良いと思う。
- ・各地域によって特色を出して良いと思うので、町でもぜひ特色を出してもらいたい。
- ・ケアマネの参加率は段々あがってきているので、今後も引き続き周知を行う。

●時間帯について

- ・医療職は昼間だと参加しづらい。ただし、事前に相談してもらえれば対応できるかもしれない。また、木曜日は休みの医療職が多いので、休みの日の夜は集まりにくいと思う。
- ・昼間は通所サービスとヘルパーも参加できない時間帯なので、その職種から意見がもらえない。

●医師・歯科医師に輪番制で参加してもらえるように、医師会・歯科医師会で話をしてもらい、結果や意見を次回伺うこととする。

(4) 認知症初期集中支援チーム（オレンジケアとうごう）について

- 平成30年度のチーム支援数は3件であり、うち2件は30年度中に支援を終結している。
- チームでの支援終結時には評価項目の再確認を行い、介入前後の改善状況について部会で報告を行う事とする。

(5) 住民向け周知啓発物について

- 各委員でホームページやチラシ内容を確認。修正や追加事項について、今後検討する。

4 その他

- 次回の部会は8月上旬を予定している。

以上